

□要請番号 (JL05422A09)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
インド	G157 日本語教育		個別	交替 4代目	2年	・2022/4・2023/1・ 2023/2・2023/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

教育省

2) 配属機関名（日本語）

国立 ビシュババラティ大学 日本語学科

3) 任地（西ベンガル州シャンティニケタン） JICA事務所の所在地（デリー）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（飛行機+車で約7.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

西ベンガル州ビールブーム県シャンティニケタンにある国立大学。日本にゆかりの深いノーベル文学賞受賞者のタゴールが配属先の前身となる学校を設立したことで知られており、特に芸術分野で有名な大学である。同校の日本語学科は1954年設立。インドで初めて日本語学科が設立された大学であり、2014年には設立60周年を迎えた。現在でも東インドで唯一日本語学科を持つ大学となっている。現在、日本語学科では学士課程、修士課程、博士課程が開講されており、およそ130名の学生が学んでいる。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

日本語を主専攻で学ぶことができる大学は数少ないが、同校は東インドで唯一日本語主専攻を持つ大学である。2007年から4名の隊員派遣(長期3名、短期1名)を行い、現在、隊員に教わった学生たちがインド各地で活躍しはじめている。任地シャンティニケタン(「平和郷」の意)は西ベンガル州の州都のコルカタから列車で4時間のところにある農村部である。日本人や日本文化との接触の機会がほとんどないことから、隊員には、日々の授業のみならず、日本語・日本文化への理解を深めるための課外活動・イベント等を企画することも期待されている。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

- 主に学士課程(日本語初級～上級、会話や作文)、修士課程(言語学や日本文化)の授業を担当する。
- 学生の日本語・日本文化への理解を深めるための課外活動・イベント等を企画する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

機材:黒板 マルチメディア教室 使用教材:『初級日本語(東京外国語大学)』

4) 配属先同僚及び活動対象者

【学生】 学士課程89名、修士課程34名、博士課程7名

【インド人日本語教員】

常勤4名(N2):学科長(女性 50歳代、博士)、教員3名(男性、40歳代2名は博士、男性20歳代は修士)
非常勤1名(N2):教員1名(男性、20歳代、修士)

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

ベンガル語

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許/資格等]：（日本語教育に関する資格）

[学歴]：（大卒） 備考：当国の教員採用事情による

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）3年以上 備考：配属先からの要望

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（5～40°C位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水源]：（安定）

【特記事項】

派遣前訓練が英語の場合は、現地語学訓練はヒンディー語となり、派遣前語学訓練がヒンディー語の場合は、現地語学訓練は現地語(ベンガル語)の訓練を実施予定。

【類似職種】

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.